

私は言いたい

国連の会議に期待する

徳田町 川北秀洋

核兵器を禁止する国際条約が締結される見通しが出てきました。

今年3月末の第一会期の会議で「核兵器を禁止する法的拘束力のある文書」を作成するため、熱心な討議が行われました。ホワイト議長は6月15日から7月7日の第二期の会議で、文書案が提案・討議され採択される見通しを示しています。

昨年12月、国連総会で前述の会議を招集する決議を賛成113カ国、反対35カ国、棄権13カ国の大差で採択しました。長年にわたるヒバクシャの方々の願いが国際政治

を動かした結果としたいと思います。

このような情勢にもかかわらず、唯一の被爆国である日本政府はアメリカの核の傘に守られているとして「核兵器禁止」に背を向けています。許し難い態度です。

「ヒバクシャ国際署名」をたくさん(2020年までに世界で数億)集めることで、日本政府の態度を変えさせる力になります。そして「核兵器禁止条約」締結の応援にもなります。7月7日が楽しみです。



中野たけしを国会へ



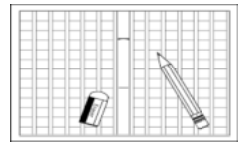
あのころのこと

稲生西 糸柳草司

憲法施行70年ということで、このところ新聞紙上に7、80歳代の人たちの戦中・戦後にまつわる投稿が多く見られ、同世代の僕もあの頃を思い出した。

僕の父は、36歳で戦争に行った。昭和19年の春だった。僕は6歳だった。入隊後、父に会ったのは陸軍病院のベッドであった。父は、部隊で慣れない馬の世話をしていて蹴飛ばされ、大怪我を負ってしまったのだ。あとでわかったことだが、部隊はその後九州を経て南方の前線へ転進して行ったそうだ。

父は戦後、軍隊のことは何も語らなかつた。話したくなかつたのかも知れない。

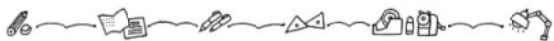


両親は戦後、疎開先の母の実家の世話になり、わずかな畑を借り受けて生計を立て、僕たち6人の子どもを育て上げた。子どもの僕が見ても両親の苦労は並大抵ではなかつた。

それでもよいこともあった。経済的にはとても苦しく、大学など行ける状況ではなかつたが、5人きょうだいの一番上の兄と、一番下の妹は、教育奨学金を貰って教員養成大学に進むことができ、僕も高校、大学中途まで無利子の奨学金を借りて勉強することができた。新憲法のおかげだった。

父は16年前、92歳で他界した。憲法記念日と父のことは何の関係も無いのだが、あの日から70年、投稿欄に触発されて、雲行き不穏な近況ともあいまって、ふと、あの頃を思い出した。

比例は日本共産党



5月24日、中野たけしさんの鈴鹿での街頭宣伝デー。鈴鹿の人なのに、めったに鈴鹿で顔を出せなくなつた中野さん。前日は岐阜、翌日は名古屋、東海ブロック4県を駆け巡る毎日だそうです。午前橋詰議員と白子方面、午後は森川議員と神戸から海岸線、そして夕方は私・石田と旧東海道を庄野から石薬師へと、3ラウンドで訴えました。写真は庄野宿の街道で。(市会議員 石田秀三)

国の制度は変わっても

たんぼぼ 中川一春

4月より介護をうける環境が変わりつつあります。

要支援1と2の比較的に軽い介護度の利用者が国事業から市町村事業に移りました。又それに伴い介護事業者への支払も国から市町村にかわりました。そのためにいままで認められていたりハビリを兼ねたカラオケ、映画等も介護予防事業から除外されることとなりました。

医療の見地からカラオケ、映画等は回想法と言われる治療のひとつと考えられています。介護予防事業から外されるのはどうしてだろうと疑問の声もあがっています。介護予防事業に参加していた利用者の方々から「大変残念だ、なんとかならないか」との意見も出ております。大声で思いつきり笑うことができ、ストレス発散になっていたのにと、たんぼぼ利用者からも同様なご意見を頂いております。

総合事業と鈴鹿市は説明されませんが、利用者の楽しみを減らしているのが現状です。介護予防事業

は制約されその上業務委託費も引き下げと厳しい現状になってきておりますが頑張つて継続させていただきます。

一説では介護予防事業をシルバー人材や老人会などへの転換等で安いコストの運営方法へ流れていくのではないかと思われれます。

今回の総合事業の中で要支援1、2の利用者の方々が介護事業所から利用を断られたと言う話も聞かえてきます。委託費の引き下げによって事業所としての採算割れが出るからだと思われれます。

たんぼぼは要支援1、2の利用者様も今までどおり利用頂き、介護事業により一層力を入れていきたいと考えております。職員一同、利用者のみなさんに喜んで来ていただき、一つでも自分のできるところを増やして頂きたいと考えております。歩行に少し不安がある利用者様がしっかり歩行できるようになった、食事が自分で食べられるようになったと笑顔を見られることで職員一同、一喜一憂しております。これからも

「明るく元気に挨拶」をたんぼぼのモットーとして取り組んでいきたいと思っております。



5月13日、弁天山公園で行われた「監視はイヤだ！鈴鹿パレード」に雨の中100人が参加。その時持参したプラカードを自宅の前に張り出しています。(石薬師 萩森繁樹)



行進するタマシイ

上野町 加藤正美

アベが右手をかざしてアップさされてくる映像に、ヒトラーを重ねる友がいるが、私には共々を従えて行進する姿が浮かぶ。北朝鮮の機械になった兵士を連想する。

国民学校五年生の夏、女子は上半身の裸を乾布摩擦した。パンツ一つの男子は、運動場を行進した。「全体ならえ」「右向け右」「回れ右」「全体すすめ」。そして行進。「全体止まれ」。一限中やっていた。倒れたものもいた。倒れるまでやるのが「ヤマトタマシイ」というもの。

目撃したことがある。久居の連隊から行進してきたのであろう。石薬師小学校の門前でぶっ倒れた兵隊がいた。重い軍靴に重い背囊。

倒れてはあはあ息をしている兵隊はバケツの水を浴びせられた。

ある日、児童が突如校庭に並ばせられる。若い先生が朝礼台で殆ど叫ぶように挨拶する。「ジブンは、召されて敵をやっつけに行くのである」。児童は加佐登駅に向かって、1キロ位を日の丸の小旗を振りながら見送りの行進する。

「天にかわりて不義を撃つ、忠勇無双のわが兵は」。 「行軍」は辞書によれば、「軍隊が隊列を組んで遠距離を移動・行進すること」。「皇軍」という言葉もある。

北朝鮮の兵士が、膝を伸ばしたままの異常な体形の「行進」を目にするたびに思う。股がつっぱったらどうするんだらう、足首を傷めたらどうするんだらう。





はしづめ圭一の

はじめの一步

幼稚園に思う疑問点

「困ってることとしてあげるのはおかしいかもですが、私立幼稚園はどこも3年保育なのに対し、公立幼稚園で2年保育と1年保育とバラバラの理由は、どこかに記されてるのでしょうか、知りたいです。」という疑問の声が寄せられました。次のように答えました。

学校教育法で、幼稚園教育の基本について定められていますが、義務教育ではないため、明確な規定はなく、市町によって違いがあるようです。他県では3年保育の公立幼稚園もある。

私立保育園関係者に聞いても「ず〜っと疑問、市に聞いてもよく分からない」とのこと。

かなり昔、公立私立の協定があって公立は1年保育と縛られていたとの声もあります。私立優先の考えがあるのでしょうか。

それとは別に、来年から幼稚園料金値上げの動きあり。

社会の高齢化が問題になっていますが、根本は、子育てしにくい社会になっていること、出生率低下が問題です。

市の財政が厳しいからと安易に値上げするのではなく、他の所を削ってでも、教育と子育ては無償にするぐらいの政策が必要だと思います。根本は国の政策ですが、地方自治体でも最大限努力すべきだと思います。

皆さんはどのようにお考えでしょうか？



(鈴鹿市議会議員 橋詰圭一)

随想

木々の新芽がさわやかに感じられる時期、散歩しながら、次々と開花する花を観ることができるとの時期は楽しみが多い。水田には稲が植えられ、鈴鹿の農産物を代表する茶の芽もあざやか、つつじの花も一斉に咲き誇る。管理がいきとどいた農地は美しい。

私は定年後に田舎の水田半分をぶどう園に変え、趣味のつもりで栽培を始め、10年が経過した。

ぶどうはちょうど青年期にさしかかるころだが、私自身は体力の衰えを感じるころとなり、いつまで続けられるかを気にしながらの毎日です。

周辺の畑地では太陽光パネルに転換するところがあちこちにみられるようになってきた。三重県は太陽光の発電力は全国10位(?)だとの新聞記事が載っていた。原子力発電の再開よりは、自然エネ

ルギー増加で喜ばしいとは思いますが、本来食料生産に寄与すべき畑地がつぶされるのを見るのは複雑な気になる。

今農地を管理している主体の年齢は70代、元気で働けることはうれしいことだが、いつまで頑張れるか、後援会も同年代の方が多くようだが、何とか若者がもっと参加してくれるようになるといいですね。

(桜島町 早川 喬)





石田 秀三の

かけある記

在職30年表彰を受けました

このほど「全国市議会議長会」「東海市議会議長会」から、鈴鹿市議会議員として「在職30年」の表彰状をいただきました。この表彰は私個人というより、長年にわたり私の活動を支えていただき、8回の選挙をともに戦っていただいた党と後援会の皆さん、ご支持いただいた市民の皆さん、地元地区や親戚・家族みんなの力によるものです。心から感謝申し上げます。

この30年間で良くなったこと、悪くなったこと

この機会に、初めて議会に出た30年前と今の違いを、振り返ってみました。長いスパンで見ると、けっこう大きく変わってきていることが分かります。

◎「中学校給食」「学童保育」は無し、議会で質問すると「子供の面倒は親が見よ」とヤジ。それが今では「あって当たり前」、市の重要施策になりました。2歳児までだった「子ども医療費」も中学生までに前進。「せめて教室にストーブを」が、「全教室にエアコン」実現に。

◎学校や公民館の建設に付き物だった多額の「地元寄付」。今は備品やエアコンなど必要なものは全て公費負担となり、強制割り当ての寄付はなくなりました。

◎「公費宴会」「観光視察」が横行していた議会や

行政。いまは全く無し。議会広報に議員名入りの発言や賛否態度が掲載され、議会テレビ中継などで「ガラス張り」が進んでいます。

良いことばかりではありません。「改悪」もいっぱいされました。

◎消費税が取られるようになり、国保税額は2倍近い値上げ、新たに介護保険料、後期高齢者医療、などの負担が暮らしを圧迫しています。

◎市の施設や学校、保育所などあらゆる所で非正規職員が激増、また民間委託が進みワーキングプア、市民の格差拡大、貧困化が大問題です。

◎商店街がさびれ大型店の天下に。空き家や耕作放棄地が急速に広がっています。

◎何よりも、国の政治がひどくなった！平和憲法も国民の生活も平気でこわしていく、こんな政治の下で、鈴鹿市政だけが、鈴鹿市民だけが良くなることはありません。国政から市政まで変えていく力をつけて頑張らねばと思います。

これからもさらに、市民の声を市政に届ける活動を広げていこうと思います。

(鈴鹿市議会議員 石田秀三)



2期目の選挙ポスター
若いね！

私のおすすめ 簡単レシピ

カイワシの和風スパゲティ

テキトーこそ極意のYさん

- 材料
- ・スパゲティ 1.4mm位の細めが合いますが、何でもOK
 - ・ツナ缶 適当
 - ・玉子 適当
 - ・カイワレ 適当

コンロを2くち使って同時進行が理想です。

スパゲティ用のお湯を沸かすところから、もう片方でフライパンを使い始めるとあわてなくていいです。

フライパンに玉子を割り入れ軽く火がはいったら

ツナ、カイワレを入れて炒める。

カイワレがしんなりしたら茹で上がったスパゲティをいれなじませ、塩少しと黒胡椒をたっぷり。

仕上げに醤油で香り付け

したら出来上がり。

焼き海苔を細く切って散らしたら、更に和風感アップ。

うちはふたりでカイワレを3パック使います。



「戦争につながる一切の行為を否定する」



森川ヤスエの

こころに夢を

沖縄には、終戦記念日より思いを強くする6月23日の「慰霊の日」があることを、みなさんご存知ですか？

今年は慰霊の日を前にして古里の戦争について、資料を読み返してみました。そして写真のようなモニュメントがあることを見つけ、そこに「戦争につながる一切の行為を否定する」という文を見つけて、島の人々の平和への思いの強さを知り嬉しくなりました。

(鈴鹿市議会議員 森川ヤスエ)

第二次世界大戦米軍上陸地モニュメント

1945年(昭和20年)6月3日早朝に米軍は、伊平屋東海岸沖で島を取り囲む形で、海面を黒く覆いつくす多隻からなる軍艦により、山の原形を破壊する程強烈な艦砲射撃後、前泊海岸この地から上陸した。

日本で唯一の悲惨な地上戦は、一般住民をも巻き込み本村において40名余沖縄県全土で20万余の単一人命を奪い去った。

私たちは、沖縄戦の体験と実相から戦争の不条理と残酷さを正しく世代に継承し、世界の恒久平和を考求する理念として戦争につながる一切の行為を否定する。そして、平和憲法の人間尊重の精神に立脚した未来永劫の平和な建設を図るため、過去の悲惨な戦争体験を風化させることなく歴史的礎として、米軍上陸碑をここに建立する。

1996年(平成8年)6月3日
伊平屋村長 新垣考一

共謀罪の「先取り」ともいえる大垣警察市民監視事件の関係者の方と懇談しました。美しい自然が広がる地域で、非常に大きな風力発電をつくるうという動きに対して心配の声を上げていた住民を警察が「敵視」。日常的に監視を行い、建設事業者と情報交換を行っていた事件です。

衆院東海比例候補 中野たけし

国民の願い胸に



お話を聞いて三つのことを感じました。第1は声を上げ、運動している人を、警察はあたかも「反社会的な活動をする人」のように敵視し、監視し、地域住民との分断を図っていたこと。第2は監視対象とされた人は、自らの情報がどこから漏れたか、疑心暗鬼になるとともに、そうした自分がいることにつらい思いをずっと続けていること。第3に警察はいまでも恣意(しい)的な判断によって、秘密裏に一般市民を監視していることです。

運動で世論に変化

いま街頭で法案の問題点を訴えていると、激励の声とともに、じっと演説を聞く姿が目立つようになりました。世論調査でも「国会で成立させる必要はない」という声も多数になる変化も生まれています。私たちの運動が世論を大きく変化させてきている反映でもあります。相手も焦りの中で強引な国会運営をされており、激しいせめぎあいです。廃案めざして一緒に力を合わせましょう。

「しんぶん赤旗日刊紙」をご存知ですか？
5月26日付に衆院東海比例候補・中野たけしさんの活動が紹介されています。
地元鈴鹿(磯山在住)から初の共産党国会議員誕生に向け、皆様のご支援、ご協力よろしくおねがいします。

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 823円

鈴鹿市日本共産党後援会 春のバス旅行

5月21日(日)バス2台、90人で好天に恵まれ、新しい参加者も交え、楽しく行って参りました。鉄道博物館は何と言っても実物のすごい迫力の汽車電車が所狭しと並んで、マニアならずとも堪能できました。実際に走ってくれるSLに乗ってご満悦の3人。京都御所は広く、整備も行き届いて、きれいなこと。電動車いすを押しながら移動する優しさ、和装で絵になる写真が撮れるチャンス、どれも共産党の後援会バス旅行ならではの魅力が垣間見れるのでした。昼食は智積院会館で美しくおいしい京料理に舌鼓を打ちました。満足と心豊かな一日でした。



【旅程表】鈴鹿市内(8:00~8:40)→新名神→京都東IC→京都鉄道博物館→智積院会館一休庵(昼食)→京都御所→井筒八ッ橋本舗→京都東IC→新名神→鈴鹿市内(17:00~17:30)

投稿コーナー



絵手紙 藤本明子さん



編集後記

先日、地元自治会の自主防災隊結団式で町内の古から「昭和19年の東南海地震の経験」を聞いた▼「あれは昭和19年の12月7日やった。昼前で、ワシ(当時小学校5年生)は学校でワラジを作った。えらい揺れやった」▼「揺れがおさまって運動場へ飛び出すと、運動場のあちこちから水が吹き上げとった。今で言う液化化ちゅうやつやな」▼「何でワラジかというのと、翌日の12月8日は大東亜戦争開戦記念の日で、小学生のワシらは伊勢まで夜間行軍する予定やった。そのワラジや。」▼「え、っ、小学生が白子から伊勢まで40kmを歩く?!しかも夜間に・・・」▼教育勅語で「一旦緩急あれば天皇陛下のために」を擦り込み、それを叩き込むために精神と身体を鍛錬したんだなあ▼その他、古老の話は13号台風、伊勢湾台風など、さまざま災害に及んだ▼自主防災隊が名前だけになっている自治会もあると聞かすが、たまにはこういう話を聞いて気を引き締めるのも大事なことだと思った。